

16.07.22西部地区(スイング)

| 発言者・団体 | 意見タイトル | 意見要約 |
|--------|---------------------------------|---|
| A | 乳幼児医療費助成制度 | 乳幼児医療費の所得制限の緩和が記載された。1日も早く予算化して、実現していただきたい。 |
| | P12 5) 言語教育の充実 | 日本人は日本語の能力をきちんと身につけることが必要である。英語教育は、少し大きくなってからで十分だ。 |
| B | P32 4 学校教育の充実 (8) 食に関する教育の充実 | 市議会において中学校給食に関する陳情が採択されたという状況の背景には、多くの市民の声がある。にもかかわらず、策定委員会においては実現する方向の文言がない。実現に向けての文言をしっかりと明記して欲しい。 |
| C | P32 4 学校教育の充実 (8) 食に関する教育の充実 | 「給食」が「昼食」という言葉に置きかえられている。また、「ほとんどの家庭が弁当をつくっているという事実がある」と書かれている。給食がないのだから、弁当をつくるのは当たり前。食の環境を大事にしたと思うのなら、実際に子どもたちのお弁当の中身を見て検討して欲しい。 |
| D | P32 4 学校教育の充実 (8) 食に関する教育の充実 | 食教育ということ幅広くとらえ、実態も踏まえて、子どもたちにどういった食の教育を提供していけるのかも含めて、学校給食にもちょっとアプローチして欲しい。 |
| E | ムーバス | 道路規制が許せば、都営住宅付近にムーバスを通してもらいたい。開設の際は、地元の意見をよく聞いてもらいたい。 |
| | 西部図書館 | 西部図書館には、都営住宅の高齢者や子ども達の利用が多い。西部図書館は残してもらいたい。 |
| | 高齢者施策 | 独居老人、病気の高齢者は災害、悪い商売(オレオレ詐欺等)に対して大変不安を感じている。市は本腰を入れて対策をとると明記してもらいたい。 |
| F | 体系図 | 概念体系図あるいは政策・施策体系図を作ってもらいたい。また、社会背景の分析などについても記述をしてもらいたい。 |
| | 近隣自治体との協働 | 環境や他の事でも、今後10年を考えれば隣接自治体との協働、連携を強化する必要があると思う。 |
| | パートナーシップ | 10頁のコミュニティとパートナーシップは、第三期長期計画での記述より進んだ形で表現されていない。市民の自立を生かすコミセンの新しい機能、形などを議論する必要がある。 |
| | 下水 | 21世紀は水の世紀だと言われている。今後、水あるいは水質をどう良くしていくかということを考えれば、合流式の下水道を分流式に改善することなどを議論してもらいたい。 |

| 発言者・団体 | 意見タイトル | 意見要約 |
|--------|------------|---|
| F | コミュニティビジネス | コミュニティビジネスという新しい発想はなかなか良い。 |
| | 社会参加 | 24頁の社会参加は言葉が曖昧だ。また、団塊の世代の支援、団塊世代事業の支援などは、全体から見れば大きな問題ではない。 |
| | N P M | N P Mの活用と研究、地方分権等への的確な対応は、積極的にやってもらいたい。 |
| G | 市民会館 | 市民会館は、武蔵野市においては唯一の社会教育施設であり、多くの市民に愛され、利用率も高い。そのことを理解していただきたい。 |
| H | 新公共施設 | 農水省跡地は、あまりお金をかけない使い道を考えてほしい。ここを利用し、環境問題や緑の問題に先駆けて取り組んでももらいたい。 |
| I | 学童 | 32頁「学童クラブの学校内あるいは隣接地への移転の推進を検討する」は、即時着手するというふうに文章を書きかえてもらいたい。 |
| J | 市民ヒアリング | ヒアリングの場を増やしてもらいたい。 |